園内研修教材「見てみて研修」について

**～　写真を使用して幼児理解を一層深めるために　～**

**１　写真を使用した園内研修のねらい**

　　①　写真を使用した保育の振り返りを行うことで、幼児理解を一層深め、日々の保育

の充実につなげます。

　　②　個人での振り返りだけではなく、複数の保育者で保育の場面について語り合うこ

とにより、深い幼児理解につなげます。

　　③　子どもの成長を保育者全員で共有することができます。

**２　園内研修で写真を使用するよさ**

　・保育者自身が、写真を見て自分の保育を客観的に振り返ることで、保育の改善点につ

いての気付きが生まれます。

　・保育場面の写真は、「子どもの気持ち（内面）を読み取り、想像すること」「その理由

を考えること」ができるので、例えば、写真を見て考えたことや感じたことを付箋に

書いてみんなで交流し、「職員同士の学びや気付き」を共有する園内研修を行うことが

できます。

**３　写真を使用する際の留意点**

　・個人情報保護法の観点から、写真を使用する際の保護者の承諾に留意し、使用した写

真は、紛失をしたり意図しない形での使用がされないようにすること、園長は保護者

の承諾の有無や自園の子どもの写真がどのように活用をされているのかを把握する必

要があります。

　・写真を撮ったり、写真について語ったりすることが、保育者の負担増にならないよう

にすることが必要です。

　・写真を撮影することが目的にならないようにして、保育に支障の出ない範囲で実施す

ることが大切です。

**４　作成方法**

* **様式：名称「子どもの姿を見て語ろう」**

・その写真を選んだ理由や幼児の様子について気付いたことをまとめます。

・今日の保育の中でのポイントとして考えられることを研修の参加者同士で話し合い

ながら整理します。

・写真を見ながら、複数の保育者で保育を振り返ったり、幼児の内面を読み取ったり

して、保育の改善について視点を持てるようにします。

**５　その他**

　・より効果的に研修を実施するため、別添の「幼児理解を深める５つのＳｔｅｐ」や「視

点の深まりサイクル」を確認しつつ取組を進めましょう。

　・各園で作成した資料は、幼児教育推進センターのホームページでの発信を通じて、道

内全ての幼児教育施設で共有できるよう、積極的にご提供をお願いいたします。

　・提供いただいた資料は、「あるある研修Ⅲ『写真を活用した園内研修のすすめ』」とし

てまとめ、道内の幼児教育施設に送付する予定です。